

2018年2月17日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部

実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信(No.54)

「女子大生におけるイヤホン(ヘッドホン)」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学を対象に「女子大生の定期入れの実態」に関するアンケートを実施しました。有効回答数は241サンプルでした。

*実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つのゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通して、女子大生が好むイヤホン（ヘッドホン）として「こだわり」や「機能性」、「イヤホンのコードの種類」、「値段」などの面から女子大生の大多数がイヤホン（ヘッドホン）に個性を求めているのではなく、使いやすく機能性を重視したシンプルなデザインを求めていることが分かった。

まず女子大生の9割以上がコード型のイヤホンを使用していると回答し、「ヘッドホンを使用する」や「イヤホンとヘッドホンのどちらも使用すると回答した割合はそれぞれ1割ずつとごく僅かにとどまった。イヤホンを購入する際のこだわりとして、「シンプルなデザインであること」という回答を約6割の女子大生が選択しており、その他に音質にこだわりがあると回答した人が次に多く、「マイクの有無」、「耳が痛くならないような仕組みがあること」などの自由回答も含めて、機能性に重きを置いていることがわかった。

これらのことから、女子大生は、アクセサリ感覚でイヤホンを購入するわけではなく、使いやすさや機能性を求めている。そのため女子大生にはシンプルかつ音質が重視された機能性に富んだイヤホンが望ましいと考える。

また、イヤホンの値段については、1000-3000円でイヤホンを購入するひとが62.7%と多かった。次に1000円以下が17.5%と続いたことから、安価でイヤホンを求める傾向があると分かった。購入先では77.8%が店舗購入と回答し、インターネットを用いた通販などが多く使用されがちな現代であるが、店舗の購入が好まれていることが分かった。

調査の結果のポイント

(1) 女子大生が音楽を聴く際に好んで使用する機器は「イヤホン」(図1)

普段音楽を聴く際に使用している機器は何かと問う質問では97%の人が「イヤホンと回答した。「ヘッドホン」、「両方」と回答した人は1%ずつしかおらず、ほとんどの人が「イヤホン」を使用して音楽を聴いていることが分かった。

(2) イヤホンの中でも使用しているイヤホンは「コード式」がほとんどである。(図2)

使用しているイヤホンのタイプを問う質問では、98%がコードのついているものを使用しているという回答であった。新しいもの好きのイメージがある女子大生ではあるが、「ワイヤレス式では小さいので無くす可能性があるのが怖い」といった意見があったため、意外にも従来型のコード式が支持されていることが判明した。

(3) イヤホン(ヘッドホン)へこだわりを持つ女子大生は約半数(図3)

イヤホン(ヘッドホン)へのこだわりの有無を問う項目では、こだわりが「ある」と回答した人が48.4%、「ない」と回答した人が51.6%という結果になった。こだわりがない回答した人の方が数%多いが、イヤホン(ヘッドホン)にこだわりを持つ女子大生は約半数いるということがわかる。

(4) イヤホン(ヘッドホン)はシンプルさ重視(図4)

イヤホン(ヘッドホン)の何にこだわりを持つかを問う項目では、「シンプルなデザインであること」と回答した人が58.3%と最も多く、次に「音質」と回答した人が15%と続いた。その他に「マイクがついているもの」や「耳が痛くならないもの」などの個人回答が1.7%ずつあった。このことから、シンプルなデザインであることにこだわりを持つ女子大生が多いことがわかった。

(5) 6割が機能性にこだわりがあり、音質にこだわりを持っている(図5-1、5-2)

イヤホンの機能性にこだわりがあるかどうかを問う項目では、64.3%の学生が「こだわりがある」と回答。こだわりがあると回答した学生を対象にどんなこだわりを持っているかを問う項目では、「音質」と答えた人が63%と最も多かった。次に耳へのフィット感と答えた人25.9%と続き、遮音性や耳元のマイクの有無と回答した人が共に4.9%と続いた。このことから、女子大生はイヤホンの機能性にこだわりがあり、中でも「音質」を重視していることがわかった。

(6) コードのタイプは細めのものが圧倒的人気である(図6)

使用しているコードのタイプについて尋ねたところ、細めのものが93.7%、次に太くて平たい頑丈なものと同様にコードリール式がそれぞれ2.4%、太くて頑丈なものが1.6%という結果になった(図7)。この結果から、コードタイプのイヤホンを多くの人が使用していることが明らかになると同時にコードタイプが圧倒的に人気であることも理解できる。

(7) イヤホンにかかる値段は1000円から3000円以内が多い(図7)

イヤホンにかかる値段はおおよそどれくらいか質問したところ、最も多かったのが1000円

～3000 円の 62.7%、続いて 1000 円以下の 17.5%、3000 円～6000 円が 13.5%、6000 円～9000 円が 2.4%となった。また 1 万円以上かける人が 4%と意外にも高価なイヤホンを買いたい求める人が多いことが分かった。

(8)イヤホンの購入する場所は店舗が多い(図8)

イヤホンの購入先を尋ねたところ、店舗購入が 77.8%、次にネット購入 6.3%、貰い物が 5.6%という結果になった。この結果から女子大生はネットで購入するといつでも欲しい時に買うことができるが、やはり店舗で実物のデザインを見ることや他の商品と比べるなどして購入する人が多いという事が分かった。

調査結果について

〈調査概要〉

1. 調査対象：実践女子大生を含む 18 歳以上の女子大生
2. 調査方法：調査法調査
3. 調査期間：2017 年 12 月 28 日～2018 年 1 月 10 日
4. 有効回答者数：126 名

本件調査担当

実践『ペルソナ』研究会

3 年 鈴木彩香

3 年 池谷真理

3 年 石井なのは

3 年 小坂明日香

調査結果データ

(1) 女子大生が音楽を聴く際に好んで使用する機器は「イヤホン」

普段音楽を聴く際に使用している機器は何かと問う質問では 97%の人が「イヤホン」と回答した。「ヘッドホン」、「両方」と回答した人は 1%ずつしかおらず、ほとんどの人が「イヤホン」を使用して音楽を聴いていることが分かった。

普段音楽を聴く際に使用している機器について

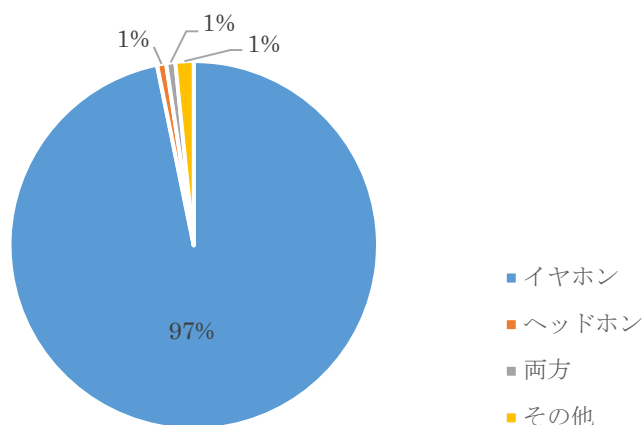


図1 普段音楽を聴く際に使用している機器は何か (126 回答)

(2) イヤホンの中でも使用しているイヤホンは「コード式」がほとんどである。

使用しているイヤホンのタイプを問う質問では、98%がコードのついているものを使用しているという回答であった。新しいもの好きのイメージがある女子大生ではあるが、「ワイヤレス式では小さいので無くす可能性があるのが怖い」といった意見があったため、意外にも従来型のコード式が支持されていることが判明した。

使用しているイヤホンのタイプについて

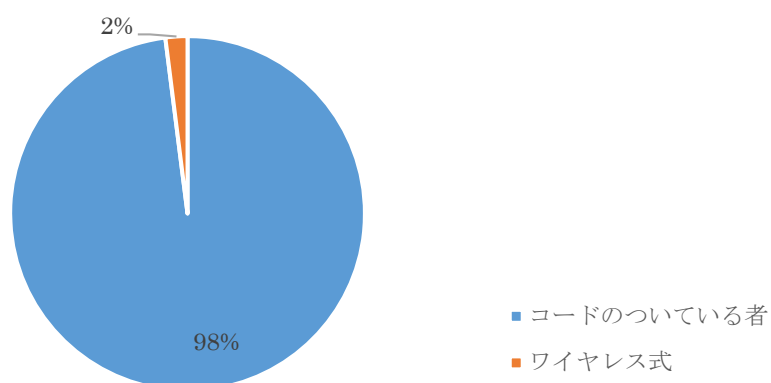


図2 使用しているイヤホンのタイプについて (122 回答)

(3) イヤホン（ヘッドホン）へのこだわりを持つ女子大生は約半数

イヤホン（ヘッドホン）へのこだわりの有無を問う項目では、こだわりが「ある」と回答した人が 48.4%、「ない」と回答した人が 51.6%という結果になった。こだ

わりがない回答した人の方が数%多いが、イヤホン（ヘッドホン）にこだわりを持つ女子大生は約半数いるということがわかる。

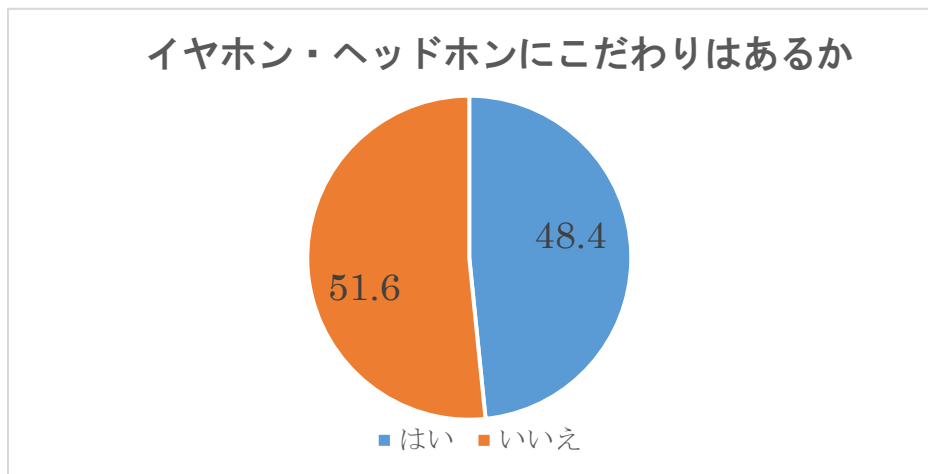


図3 イヤホン・ヘッドホンにこだわりはあるか（126 回答）

（4）イヤホン（ヘッドホン）はシンプルさ重視

イヤホン（ヘッドホン）の何にこだわりを持つかを問う項目では、「シンプルなデザインであること」と回答した人が 58.3%と最も多く、次に「音質」と回答した人が 15%と続いた。その他に「マイクがついているもの」や「耳が痛くならないもの」などの個人回答が 1.7%ずつあった。このことから、シンプルなデザインであることにこだわりを持つ女子大生が多いことがわかった。

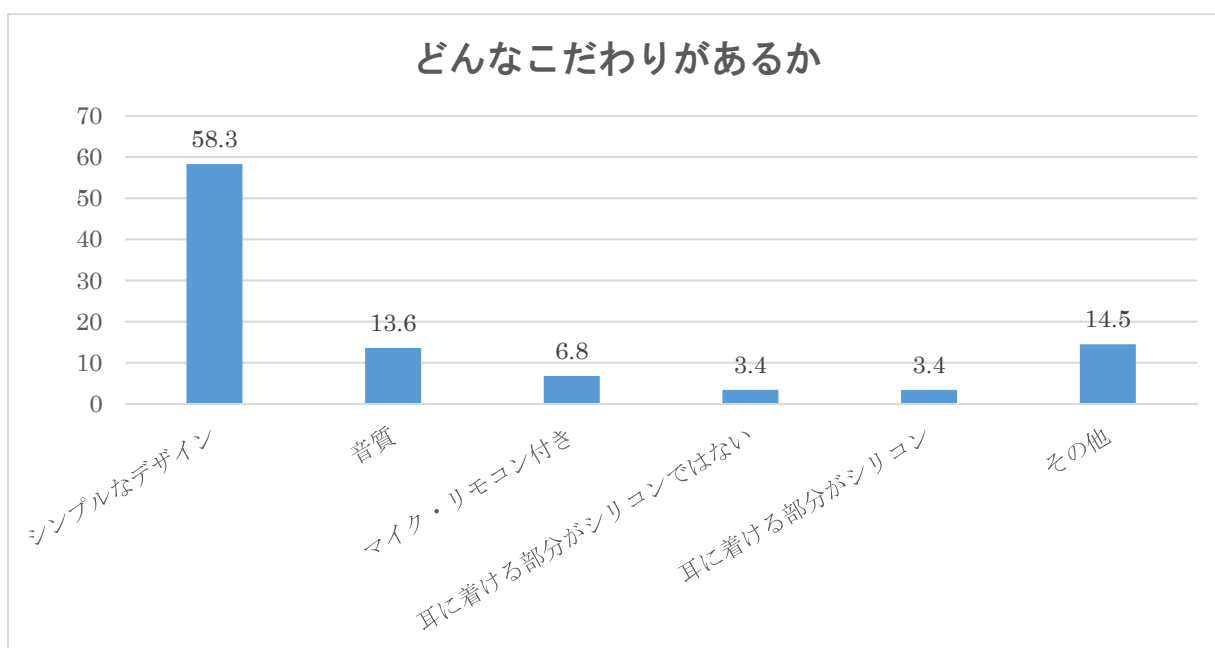


図4 どんなこだわりがあるか（60 回答）

(5) 6割が機能性にこだわりがあり、音質にこだわっている

イヤホンの機能性にこだわりがあるかどうかを問う項目では、64.3%の学生が「こだわりがある」と回答。こだわりがあると回答した学生を対象にどんなこだわりを持っているかを問う項目では、「音質」と答えた人が63%と最も多かった。次に耳へのフィット感と答えた人25.9%と続き、遮音性や耳元のマイクの有無と回答した人が共に4.9%と続いた。このことから、女子大生はイヤホンの機能性にこだわりがあり、中でも「音質」を重視していることがわかった。

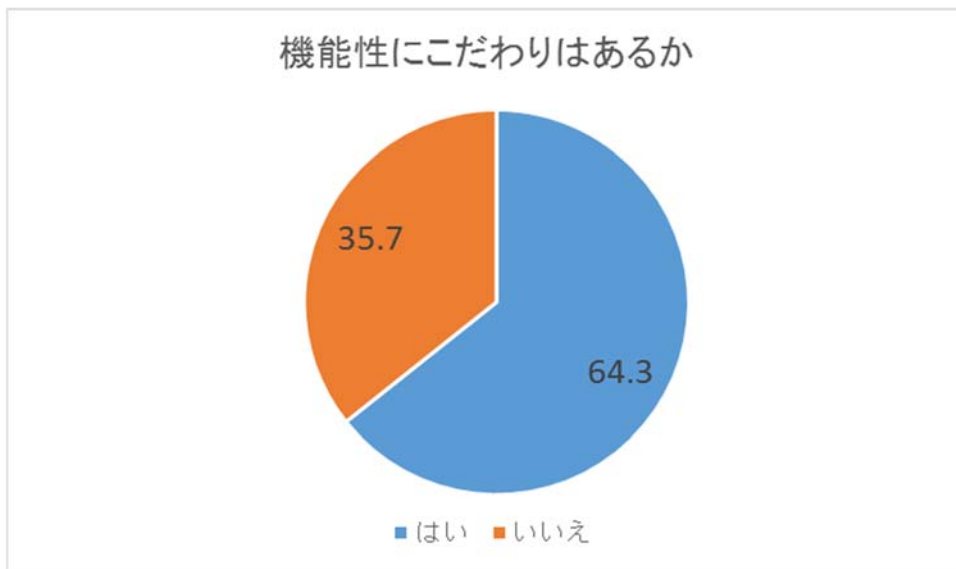


図 5-1 機能性にこだわりはあるか (126 回答)

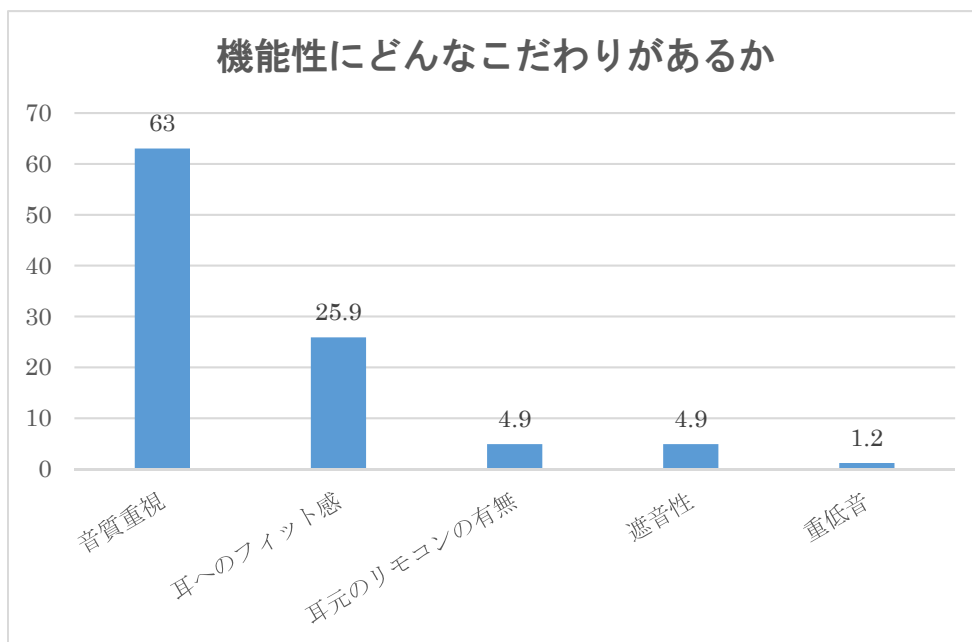


図 5-2 機能性にどんなこだわりがあるか(81 回答)

(6) コードのタイプは細めのものが圧倒的人気である

使用しているコードのタイプについて尋ねたところ、細めのものが 93.7%、次に太くて平たい頑丈なものと同コードリール式がそれぞれ 2.4%、太くて頑丈なものが 1.6%という結果になった(図 7)。この結果から、コードタイプのイヤホンを多くの人を使用していることが明らかると同時にコードタイプが圧倒的に人気であることも理解できる。

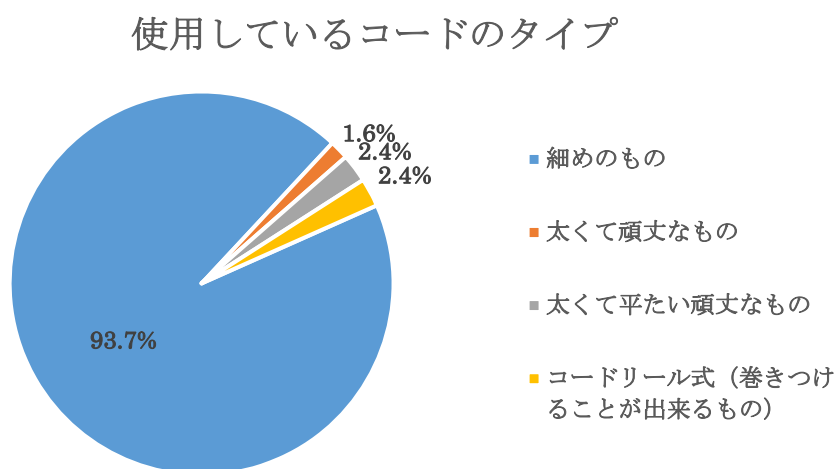


図 6 使用しているコードはどのようなタイプのものか (126 回答)

(7) イヤホンにかける値段は 1000 円から 3000 円以内が多い

イヤホンにかける値段はおおよそどれくらいか質問したところ、最も多かったのが 1000 円～3000 円の 62.7%、続いて 1000 円以下の 17.5%、3000 円～6000 円が 13.5%、6000 円～9000 円が 2.4%となった。また 1 万円以上かける人が 4%と意外にも高価なイヤホンを買いたい求める人が多いことが分かった。

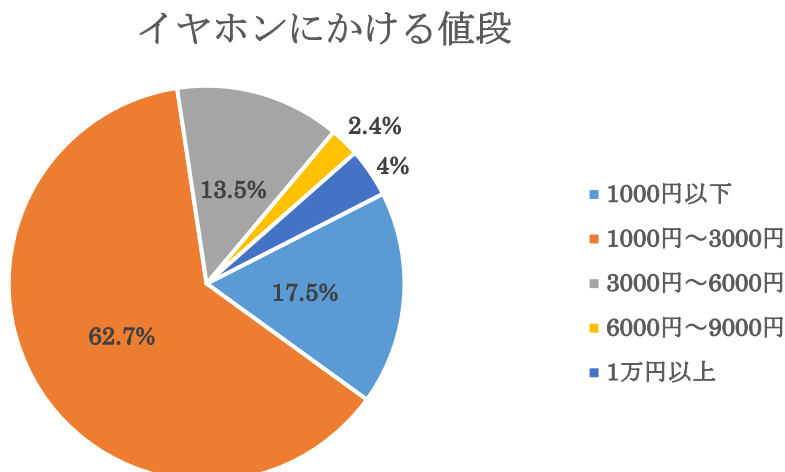


図7 イヤホンにかける値段はおよそどれくらいか (126 回答)

(8) イヤホンの購入する場所は店舗が多い

イヤホンの購入先を尋ねたところ、店舗購入が77.8%、次にネット購入6.3%、貰い物が5.6%という結果になった。この結果から女子大生はネットで購入するといつでも欲しい時に買うことができるが、やはり店舗で実物のデザインを見ることや他の商品と比べるなどして購入する人が多いという事が分かった。

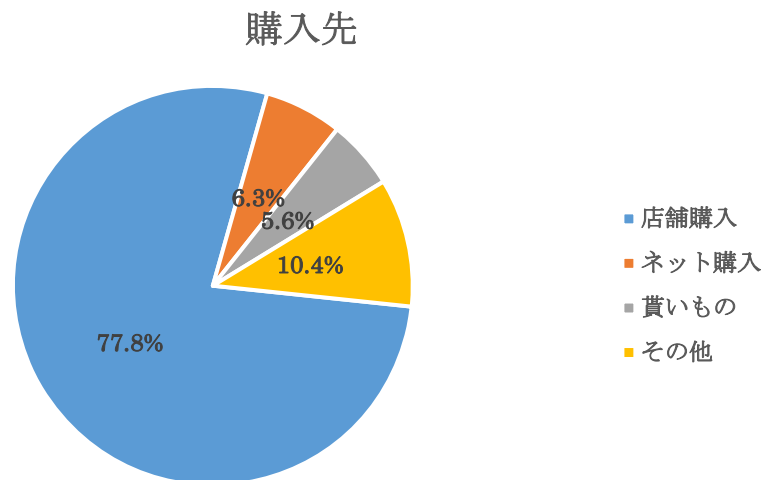


図8 購入先はどこか (126 回答)